

和歌山県産野生植物分布資料 (6)¹⁾ Records of wild plants in Wakayama Prefecture, Japan. (6)

内藤麻子²⁾

ASAKO NAITO

Abstract

Collection surveys for the specimens kept in Wakayama Prefectural Museum of Natural History (WMNH) were conducted. New records were reported based on the 63 voucher specimens as new locality of Wakayama Prefecture.

はじめに

筆者は、和歌山県立自然博物館(WMNH)の現有標本を再検討し、2019年から2023年にかけて分布資料(1～5)としてまとめた(内藤, 2019; 2020; 2021; 2022; 2023)。その後も標本調査および現地調査を継続的に行い、新産地記録について63点を確認した。本稿では、これらの標本記録について報告する。

和名及び学名、科の配列については主に米倉(2012)に従った。科名、和名、学名に加え、証拠標本に記された年月日、標本庫略号、登録番号を列挙した。すでに県内に定着・分布拡大した外来植物については、和名の後に(帰化)と記した。環境省レッドリスト(環境省, 2020)、和歌山県が発行したレッドデータブック(和歌山県, 2022)に掲載された種については評価ランクを示した(「環」「県」と略称)。絶滅が危惧される種については盗掘防止の観点から産地表記を市町村名に止めた。紀北地域と紀南地域の区分については白馬山脈を境界とした。

紀北地域: 和歌山市・海南市・橋本市・有田市・紀の川市・岩出市・紀美野町・かつらぎ町・九度山町・高野町・湯浅町・広川町・有田川町。

紀南地域: 御坊市・田辺市・新宮市・美浜町・日高町・由良町・印南町・みなべ町・日高川町・白浜町・上富田町・すさみ町・那智勝浦町・太地町・古座川町・北山村・串本町。

なお、紀北地域を対象に5ヵ年計画で実施した資料収集の成果として、高野山植物目録(山本・中野, 2007)の補遺を集録した。

ANGIOSPERMAE 被子植物

ARISTOLOCHIACEAE ウマノスズクサ科

Asarum caulescens Maxim. フタバアオイ

山野に見られる多年草。地面近くに開花する。高野山の記録が知られていたが(村田, 2004; 和歌山県立自然博物館, 2004; 山本・中野, 2007)、有田川町においても採集されている。

【証拠標本】

有田川町: 近井, Apr. 20, 1987 (WMNH-5053); 室川, May 3, 1987 (WMNH-52511)。

EUDICOTILEDONEAE 真正双子葉類

FABACEAE マメ科

Vicia unijuga A. Braun var. *unijuga* ナンテンハギ

草地にやや普通にみられる多年草。葉は2小葉から成る。紀南地域の記録は文献情報に限られていたが(宇井, 1929; 坂口, 1937; 村田, 2004; 和歌山県立自然博物館, 2004)、下記の地域においても採集されている。

1) 和歌山県立自然博物館業績 No. 128

2) 〒642-0001 和歌山県海南市船尾 370-1 和歌山県立自然博物館 naito_a0001@pref.wakayama.lg.jp

【証拠標本】

橋本市：下兵庫，Dec. 9, 1983 (WMNH-419). かつらぎ町：西浜田，May 26, 1999 (WMNH-31215)；妹山，Oct. 4, 1976 (WMNH-35794). 有田川町：中井原，Nov. 18, 2007 (WMNH-34043). 御坊市：藤田村，Aug. 採集日不明，1937 (WMNH-37174). 御坊駅近く，Mar. 29, 1991 (WMNH-11016). すさみ町：見老津，Jan. 4, 1993 (WMNH-13763). 串本町：田並，Oct. 23, 2005 (WMNH-57940)；出雲，Nov. 24, 2002 (WMNH-32349).

ROSACEAE バラ科

Rosa sambucina Koidz. ヤマイバラ

山野に生育し，樹木に寄りかかりながら生育するノイバラの一種．他の種類よりも花は大きく直径 3 cm 程度．高野町，新宮市に記録が限られていたが（和歌山県立自然博物館，2004；山本・中野，2007），他地域においても採集されている．

【証拠標本】

岩出市：根来，May 26, 1983 (WMNH-61834). 有田川町：二沢，May 20, 1990 (WMNH-10776). 田辺市：皆地，May 27, 2007 (WMNH-52881)；平治の滝，Sept. 26, 1995 (WMNH-61836). 印南町：川又，June 2, 1986 (WMNH-61835). みなべ町：東本庄，May 19, 2011 (WMNH-58492). 日高川町：熊野川，Oct. 28, 2007 (WMNH-34147).

ELAEAGNACEAE グミ科

Elaeagnus numajiriana Makino コウヤグミ（県：VU）

山野に生育する落葉小高木．高野山中学の沼尻好氏が牧野富太郎に送付した植物標本を基に命名された．高野町，有田川町，田辺市，日高川町の産地が知られていたが（和歌山県立自然博物館，2004；村田，2004；山本・中野，2007），紀の川市，かつらぎ町，新宮市，古座川町，那智勝浦町にも採集記録がある．

【証拠標本】

紀の川市：May 10, 1999 (WMNH-26874). かつらぎ町：June 19, 1999 (WMNH-25885). 新宮市：June 4, 1999 (WMNH-25780). 古座川町：May 9, 1988 (WMNH-7204). 那智勝浦町：July 23, 1993 (WMNH-15243)；Dec. 31, 1976 (WMNH-61863).

FAGACEAE ブナ科

Quercus acuta Thunb. アカガシ

山野に生育する常緑高木．高野町，田辺市，那智勝浦町において標本記録がある（土永，2002；山本・中野，2007；内藤・和歌山県レッドデータブック改訂委員会植物部会，2012）．県内分布について宇井（1929）には「普通」とある．下記地域においても採集されている．

【証拠標本】

かつらぎ町：下天野，Oct. 16, 2000 (WMNH-29494)；宮本，Apr. 25, 1987 (WMNH-5074). 九度山町：久保～雪地山，Apr. 20, 2002 (WMNH-31600). 湯浅町：山田，Feb. 25, 2004 (WMNH-33471). 紀美野町：生石山，May 20, 1956 (WMNH-61852)．有田川町：田角，Dec. 27, 1998 (WMNH-25551)；上湯川，May 30, 1993 (WMNH-54495). 御坊市：湯川町富安，Jan. 4, 2004 (WMNH-33418). 新宮市：橋本，Mar. 16, 1994 (WMNH-16625)；高田，Oct. 15, 1977 (WMNH-61854). 美浜町：三尾，Jan. 30, 2000 (WMNH-27551). 日高町：原谷，Jan. 7, 2007 (WMNH-33704). みなべ町：清川，May 25, 2014 (WMNH-59096)．日高川町：小川，July 8, 1957 (WMNH-61853). すさみ町：周参見，Apr. 19, 2015 (WMNH-61855). 古座川町：大塔山山頂，May 9, 1988 (WMNH-7208).

Quercus crispula Blume var. *crispula* ミズナラ

山野に生育する常緑高木．標本記録は高野町に限られていた（和歌山県立自然博物館，2004；山本・中野，2007）．下記地域においても採集されている．

【証拠標本】

有田川町：上湯川，May 30, 1993 (WMNH-54027). 田辺市：高甲良山，May 9, 1987 (WMNH-5384); 護摩壇山，Aug. 22, 2012 (WMNH-58519). 日高川町：石塔山，Aug. 採集日不明，1936 (WMNH-37930).

Quercus acuta × *Q. takaoyamensis* Makino オオツクバネガシ

アカガシとツクバネガシの雑種とされ、葉柄が長く、葉身の先にわずかに鋸歯が出る。

【証拠標本】

田辺市：百前森山，Jan. 14, 1979 (WMNH-9124); 小広峠，Sept. 6, 2009 (WMNH-58151).

EUPHORBIACEAE トウダイグサ科

Neoshirakia japonica (Siebold et Zucc.) Esser シラキ

山地に生育する落葉高木。葉は全縁。紀の川市，高野町，田辺市の記録に加え（和歌山県立自然博物館，2004; 山本・中野，2007），下記地域において採集された。

【証拠標本】

かつらぎ町：鍋谷峠，July 30, 1984 (WMNH-1330); 北寺，July 15, 1982 (WMNH-61860). 有田川町：上湯川，June 17, 2005 (WMNH-59151). 田辺市：下川上，May 31, 2015 (WMNH-59361); 本宮町三越，May 28, 2000 (WMNH-53861); 本宮町黒蔵谷，June 5, 1977 (WMNH-61856). 新宮市：上長井，June 7, 2008 (WMNH-58573); 田長谷，June 2, 2001 (WMNH-53874). 印南町：川又，June 10, 1956 (WMNH-61857). 日高川町：李，June 採集日不明，1936 (WMNH-37477); 西ノ河原生林，June 14, 1964 (WMNH-61861); 猪谷，Aug. 7, 1983 (WMNH-61862). 白浜町：庄川，May 28, 2000 (WMNH-53864). 那智勝浦町：烏帽子岳，June 4, 1977 (WMNH-61858); 大雲取，July 10, 1983 (WMNH-61859).

SAPINDACEAE ムクロジ科

Acer shirasawanum Koidz. オオイタヤメイゲツ

山地に生育する落葉高木。葉身の幅は 6 cm 以上。葉に重鋸歯がある。ハウチワカエデ *Acer japonicum* Thunb. に似るが、葉身の長さが葉幅よりも短い。

【証拠標本】

田辺市：護摩壇山，June 12, 2005 (WMNH-53800). 日高川町：石塔山，Aug. 採集日不明，1936 (WMNH-38419).

高野山植物目録の補遺

高野山（高野町）は古来より信仰の聖地としてだけでなく植物の宝庫として数多くの研究者が植物調査に訪れており、高野山の植物相についてはその研究小史とともに数多くの目録がまとめられてきた。近年発行されたものに山本・中野（2007）があり、過去の植物調査で最も功績があった人物として沼尻好（生没年不明），小川由一（1889-1970）が参考文献とともに紹介されているが（沼尻，1930; 小川，1958），研究史としては小川（1940），小倉（発行年不明）がより詳しい。明治末期から大正初期にかけて師範学校に奉職した中島久楠（生没年不明）が植物採集の実地指導を始め、その門下生にあたる坂口總一郎（1887-1965）が継続して指導した。当時、中等学校博物科教員を中心に構成された和歌山県博物学会が県内各地において博物（現在の理科にあたる）に関する調査研究活動を活発に行っており、坂口總一郎はその指導的存在として活躍した。事業の一つに大正 9 年 8 月、高野山において植物分類学者、牧野富太郎（1862-1957）を招いた講習会があり、その成果物として植物目録がまとめられ、1199 種が報告されている（和歌山県，1925）。

高野山における植物の総数は、小川（1940）では 1424 種、小倉（発行年不明）では 1300 種が掲載されている。山本・中野（2007）は現地調査によって得られた証拠標本を元に 1244 種を報告し、後に発見された標本を元に 6 種が追加され（山本，2008）。本報告はこれらの種数に 2 種を追加するものであるが、目視情報を含むことから、今後も継続的に採集調査を計画し、証拠標本が得られたものから追加する予定である。なお、山本・中野（2007）の目録では植栽と自生の区別について「栽培?」「逸出」と付記しているが、記

述の無いもののうち過去の栽培・導入の記録が見出されたものについては文献情報を追加した。

ASPARAGACEAE キジカクシ科

Ophiopogon planiscapus Nakai オオバジャノヒゲ (県: NT)

高野町のほか、橋本市、かつらぎ町、田辺市において記録があり、内藤(2022)に産地報告された。小倉(発行年不明)の目録に和名の掲載がある。本報告により目録に追加する。

ZINGIBERACEAE ショウガ科

Zingiber mioga (Thunb.) Roscoe ミョウガ(帰化)

山本・中野(2007)では産地表記が神谷となっており、植栽・自生の区別は無いが、地面近くに出る花芽を食用とすることから高野町富貴地区を中心に産地化している。森(1975)によると、大正の終わり頃、橋本市の谷奥深(文献では谷大深となっているが誤記とみられる)から苗を取り寄せたことが産地化の始まりとされている。栽培品からの逸出とみられるものが各地で野生化している。

ORCHIDACEAE ラン科

Odontochilus yakushimensis (Yamam.) T. Yukawa ヤクシマヒメアリドオシラン(県: NT 環: NT)

高野町のほか、新宮市、白浜町、古座川町において発見され、内藤(2021)に産地報告された。高野町での標本は得られていないが、目視情報(2020年8月、山元晃氏より私信)としてここに追加する。

Yuania amagiensis Nakai et F. Maek. キバナノショウキラン(県: CR 環: EN)

山本(2008)において訂正された本種については証拠標本の引用が無いが、近年、標本が得られたのでここに引用する。

【証拠標本】高野町: July 16, 2021 (WMNH-61659)。

謝辞

資料の提供や寄贈いただいた坂口智子氏、高須英樹氏、山元 晃氏に深く御礼申し上げます。

引用文献

土永知子. 2002. 大杉谷・黒蔵谷の種子植物, 大塔山系大杉大小屋国有林・黒蔵谷国有林自然環境調査報告集, 72-82.

環境省レッドリスト 2020. <https://www.env.go.jp/press/107905.html> (2024年6月28日閲覧)

村田 源. 2004. 近畿地方植物誌. 257pp, 特定非営利活動法人大阪自然史センター, 大阪.

沼尻 好. 1930. 高野山の植物. 紀州生物雑俎, 1: 2-7.

内藤麻子・和歌山県レッドデータブック改訂委員会植物部会. 2012. 那智山維管束植物目録(予報). 和歌山県立自然博物館館報, 30: 58-69.

内藤麻子. 2019. 和歌山県産野生植物分布資料(1). 和歌山県立自然博物館館報, 37: 75-85.

内藤麻子. 2020. 和歌山県産野生植物分布資料(2). 和歌山県立自然博物館館報, 38: 51-62.

内藤麻子. 2021. 和歌山県産野生植物分布資料(3). 和歌山県立自然博物館館報, 39: 67-74.

内藤麻子. 2021. 和歌山県におけるヤクシマヒメアリドオシラン *Odontochilus yakushimensis* (Yamam.) T. Yukawa の基礎資料. 植物地理・分類研究, 69(2): 203-206.

内藤麻子. 2022. 和歌山県産野生植物分布資料(4). 和歌山県立自然博物館館報, 40: 67-76.

内藤麻子. 2023. 和歌山県産野生植物分布資料(5). 和歌山県立自然博物館館報, 41: 49-58.

小川由一. 1940. 高野山の植物. 299pp. 高野山大学出版部, 高野.

小川由一. 1958. 紀伊高野山植物誌. 信愛紀要, 2: 1-42.

- 小倉彦一．出版年不明．紀州高野山植物帯概論．113pp. 発行所不明．
- 坂口總一郎．1937. 紀州植物研究の栞．299pp. 福本印刷所出版部，和歌山．
- 宇井縫蔵．1929. 紀伊植物誌．338pp. 高橋南益社，大阪．
- 和歌山県．1925. 和歌山県史蹟名勝天然記念物調査会報告第4集．188pp. 和歌山県，和歌山．
- 和歌山県．2022. 保全上重要なわかやまの自然 和歌山県レッドデータブック [2022 年改訂版]．783pp. 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室，和歌山．
- 和歌山県立自然博物館．2004. 小川植物コレクション標本目録．292pp. 第一製版印刷，和歌山．
- 森 静雄．1975. 紀州の園芸．128pp. 初田印刷，和歌山．
- 山本修平．2008. 「高野山植物目録」の訂正と補遺．くろしお，27: 9–10.
- 山本修平・中野玖美．2007. 高野山植物目録．77pp. ウイング，和歌山．
- 米倉浩司．2012. 日本維管束植物目録．379pp. 北隆館，東京．